

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | | | |
|---------------|------------------------------|-------------------|----|
| 事業名 | ちくほくフットパス(朝さんぼ)の応用による村の観光づくり | | |
| 事業主体 (連絡先) | 筑北村役場企画財政課 (0263-66-2111) | | |
| 事業区分 | (8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業 | | |
| 事業タイプ | ソフト | | |
| 総事業費 | 628,100 | 円 (うち支援金: 479,000 | 円) |

事業内容

これまで計画・実施を行ってきたちくほくフットパス(※)のコースを、イベントを実施しない日でも、個人で歩き楽しめるようコースマップを作成・見える化する。また村内には3つのJRの駅が在るが、本数が少なく、駅周辺での商業施設も少ないため、筑北村各観光スポット・施設間の移動時間、修験・トレッキングコースの所要時間案内を記載した資料も合わせて作成・展開し、より効率的に時間を活用して筑北村を知り、楽しんでいただける環境を作る。

※筑北村では2015年から「朝さんぼ」という名前で、村内を歩くイベントを行ってきた。2020年現在で通算33回の開催実績がある。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

本事業は、観光名所を訪れて終わりではなく、心象風景など、心に残る景観をつないで、コース設定をしている。「ありのままの素材」を活かすことによって、初期の投資を最小限に抑え、さらに地域住民・外部住民・観光事業者・自治体など、様々な属性の人々と地域の人々との交流を図ることにもなり、地元の人々が地域の魅力と誇りに目覚めるきっかけになるだろう。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・ちくほくフットパス(朝さんぼ)による観光及び交流人口の増加
- ・地域を知ることにより空き家バンク等を利用した移住促進に繋げる。
- ・情報発信によるPR

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【成果物の写真】

【目標・ねらい】

- ① これまでの事業の見える化
- ② 関係人口の増加
- ③ 「ありのままの素材」を活用
- ④ 必要最小限のコスト

※自己評価 【 B 】

【理由】
 地域の魅力を再発見することにつながった。